

2009（平成21）年7月6日

エコSUN市民発電出資者・寄付者 各位

しみん共同発電事業（エコSUN市民発電）実行委員会
実行委員長 新開 悦子

エコSUN市民発電事業の年次報告並びに再度の善意寄付のお願い

皆様には益々ご清栄にてご活躍のことと拝察いたします。

さて、皆様の多大のご厚志をもとに太陽光パネルを豊中市環境情報サロンに設置を進めてきた取り組みは、完成による発電開始から1年以上が経過して、先般、年度末を迎えたところでございます。

この間、場所的な問題あり発電効率は十分ではありませんが順調に発電し、自己消費分を除きほんの僅かですが売電収入も得ているところでございます。

何よりも、市民の手による自然エネルギー導入の率先行動としての取り組みとしては意義深く、昨今の情勢を考慮しますと、高く評価できるのでないかと考えているところでございます。これもひとえに皆様のご援助のお蔭であり、改めて感謝を申し上げます。

つきましては、ご厚志を賜る際に申しあげましたように、発電から1年を経過しますので、この間の発電状況並びに収支状況（設置費用及び現在の寄付金等の状況）を、ご報告申し上げるものです。

なお、誠に恐縮ですが、別添の収支状況にもありますように設置費用を回収して当初の願望でありました市民発電2号機の費用の資金への充当については大変厳しいところでございます。とくに、出資金（当面要する費用の代弁）を返済することについても後わずかの寄付金収入の確保が必要になっており、現在も寄付金募集を継続して行っているのが実情でございます。

これまで、物心両面からご支援賜りました皆様に申し上げることは、はなはだ心苦しいところでございますが、事情をご賢察の上、再度のご支援を賜りたく非礼を顧みず、ご報告を兼ねてお願いする次第でございます。

よろしく、お願い申し上げます。

○追伸

売電収入とは自己消費してなお、関西電力に余剰電力として売電した収入金で2008（平成20）年度は7,171円/年度でした。この収入は豊中市に入金され、「豊中市地球温暖化防止基金」として活用されることになっています。

太陽光発電パネルを設置して

○若干の総括

1) 発電状況

設置を予定した豊中市環境情報サロンは設置場所（屋上は強度の問題、南側は樹木の問題）が極めて限定されたため西側への設置となりました。そのため、太陽（日差し）が注がれる時間帯が午後となり、発電効率は大きく期待することはできませんでした。この点は、場所的な問題から当初想定していたことですが、実際に現れる結果となっています。

また、平日は事務所を開設しており、夏・冬時期の冷暖房に加え OA 機器をはじめ一定の電力消費をしており、余剰電力が発生するのは土・日曜日の限られることから、売電収入は微々たるものでした。

もとより第 1 号機の設置は、「豊中市地球温暖化防止地域計画」の率先行動としての意義、豊中市における太陽光パネルの設置補助制度の開始に先駆け、市民の手による自然エネルギーの積極的な導入を期待して、その啓発・普及することを観点に取り組むことが本旨であり、これについては十分な役割を果たしたものと抑えることができます。

とくに、政府においては補助制度の復活を行い余剰電力の「買い取り制度」の実施を具体化しようとしている情勢を考慮すると、今回の取り組みは大いに評価できるものです。

表 発電開始以降の発電・消費積算及び自給率

月	発電積算 (A)	消費積算 (B)	売電	買電	自給率 (A) / (B)	備考
2008年3月	108 kwh	343 kwh	24 kwh	259 kwh	31%	7日以降 発電
4月	144 kwh	420 kwh	37 kwh	313 kwh	34%	
5月	161 kwh	404 kwh	36 kwh	279 kwh	39%	
6月	135 kwh	433 kwh	24 kwh	322 kwh	31%	
7月	181 kwh	490 kwh	40 kwh	349 kwh	36%	
8月	150 kwh	449 kwh	29 kwh	328 kwh	33%	
9月	116 kwh	489 kwh	19 kwh	392 kwh	23%	
10月	107 kwh	524 kwh	18 kwh	435 kwh	20%	
11月	78 kwh	429 kwh	12 kwh	363 kwh	18%	
12月	74 kwh	517 kwh	16 kwh	459 kwh	14%	
2009年1月	74 kwh	473 kwh	15 kwh	414 kwh	15%	
2月	88 kwh	481 kwh	20 kwh	413 kwh	18%	
3月	132 kwh	511 kwh	34 kwh	413 kwh	25%	
計	1,548 kwh	5,963 kwh	324 kwh	4,739 kwh	26%	

上表のように自給率は26%程度でした。5月が39%となっていますが、これは休日が多く事務所の休業日が自給率を高めた要因です。一方、12月～1月は事務所の休業日の関係より、日差しの弱さや照射日に起因していると考えられます。

一般家庭で3～4kwhを設置しているところの自給率は80%程度の例もありますが、この場合は太陽光パネルが全面南側に設置されている場合は多く、ほぼ日中は陽が差しているケースであり、今回の状況を賢察していただけるものと思います。

いずれにせよ、豊島公園を訪れる市民に対して市民発電の取り組みを知っていただく機会を多く提供したことは間違いありません。

なお、売電収入は2008（平成20）年度で7,171円でした。この収入額は「豊中市地球温暖化防止基金」に充当され諸活動の資金として活用されることになっています。

2) 収支決算の状況

太陽光設置に際し、大阪府の助成金を前提に寄付金を募って資金確保をめざしました。しかし、時間的な問題（申請後約6カ月で完成）もあり、設置費用が確保できない場合を想定して出資金（寄付金で設置費用が確保できた時点で返金）の募集も行う方法を採用し、活動を展開しました。

2009（平成21）年3月31日の段階で、設置にかかる全費用2,766,599円に対し、助成金・寄附等の収入合計は2,786,712円であり、繰越金として20,113円を計上することができました。

出資金は返金を基本としてきましたが、出資金に充当できる金額は現時点では20,113円しか確保できていないため、189,887円が不足している現状にあり、当面、この不足額の確保が重要な課題となっています。

多くの皆様に浄財をいただき設置活動を行ってきました。活動展開の拙さもあり、十分な資金調達が進んでいない現状を報告することのお詫びをいたしますが、そこで、収支決算報告を行う機会に、まず出資金返金のための寄付金並びにカンパを改めてお願いし、あわせて第2号機の設置に向けた資金調達の活動を進めるものです。

エコSUN市民発電収支計算書

2007（平成19）年10月5日～2009（平成21）年3月31日

（単位：円）

科目		決算額	備考
収入の部	事業収入	0	
	助成金収入	500,000	大阪府からの助成金
	寄付金収入	1,888,720	市民からの寄付
	カンパ収入	186,900	行事の際のカンパ募集
	出資金	210,000	一時資金調達金（設置費用の寄付金調達で返金）
	雑収入	1,092	預金利子
当期収入合計（A）		2,786,712	
前期繰越金		0	
収入合計（B）		2,786,712	
支出の部	外注費	2,722,209	太陽光パネル・設置工事・寄付プレート等の経費
	印刷費	0	
	通信運搬費	10,340	事務連絡通信費
	事務消耗品費	9,190	講演会チラシ代
	旅費交通費	0	
	諸謝金	20,000	講演会謝金
	雑費	4,860	太陽光発電所ネットワーク入会費、手数料
支出合計（C）		2,766,599	
収支差額（A）－（C）		20,113	
繰越金（B）－（C）		20,113	

今後の活動について

○当面の考え方

1) 実行委員会の開催と状況報告

この間の発電状況及び収支報告について確認をいただく会議を開催します。

2) 出資金の返還に向けた寄付金の再度、募集呼びかけの実施

これまで寄付をいただいた人々に報告書の送達を行い、あわせて出資者に出資金を返金すべく、再度、寄付金の募集案内を行います。また、新たな寄付者を募る呼びかけも同時に行います。

今回の寄付金募集は、当面、出資金の返金額の確保が主となりますが、大きくは第2号機の設置に向けた費用の確保をめざすものとなります。

3) 第2号機の設置に向けて

とくに、現在の売電価格は約25円（価格は変動しますが、買電・売電価格は一緒）程度ですが、政府の施策として「買取制度（約現状の倍の金額）」が本格化する可能性があり、これを踏まえて、従来に匹敵する寄付金活動を実施することとします。

なお、設置場所は第1号機で生じた諸問題を事前に整理して最低価格で効率の良い発電設備を模索していきます。募集金額は約200万円を目標とします。

4) 第2号機設置に向けたエコSUN発電実行委員会の設置

そのため、実行委員会を設置します。また、NPO法人太陽光発電所ネットワークへの加入を踏まえ、グリーン証書の手続きや、助成金の仕組み等の情報を入手し、他の資金も活用できるよう努力していきます。

市の基金の活用も可能な打診を強めます。

5) 呼びかけビラの作成と講演会の検討

広く市民の皆様に、活動を案内し、あわせて寄付金の募集を呼びかけるビラを作成します。また、日本における太陽光発電の将来展望に関する勉強会を開催します。